

1980年3月号

1980年3月5日発行(毎月1回5日発行)

No.46

あんふあんて

発行人/ 発行所/ あんふあんて出版部
定価/ 100 円 振替口座/ あんふあんての会



はじめまして 優(ユウ)
産まれた気分は
いかがですか?

じょうだんにも
産んでくれとは言わなかった
なんて

ほさかないで 下さいね
子持ちは

翔ぶ かるやかさなどなく
走る 真剣さ
そのもの



あんふあんの目

＝マスコミュニケーション＝

あきらめはしない＝



1月28日(月)の朝日新聞朝刊の婦人家庭欄に「あなたにとって家庭とは」という記事が載った。いろんなグループの意見をわかりやすく(?)か、意図的にか、是非の二論に大別してある。その中にあるあんふあんの目もあつた。あつた。というの、その時まで記事として掲載されるのを知らなかったからである。そういえば、大阪朝日の松井さんという人からずいぶん前に電話があつたと事務局に大山さんから聞いたつて。それにしても、なんと是非論の是の方にわがあんふあんと載っている。しかも御ていねいに東京・事務局とまで付記されて。まさか、ジョーダンよ、これ、いや、まぎれもなく私たちのあんふあんのことらしい。とにかくにも大山さんに聞いてみよう。

「いろんなグループに聞いてみるのだけれど、家庭の日」についてどう思いますか」と聞かれ、「事務局の人は今いない。それに、そう聞かれても、あんふあんとして一つの見解として発表することはない。いろんな人がいるのだ。それがあんふあんだ。」と一応は説明した。そして、割と感じがいいと思っ



就学時健診その後



さて、就学時健診拒否をやってみて、案の定一月中旬に来るはずの入学通知が来ませんでした。二月にはいり、杉並教育委員会から三度目の通知が来ました。お子様の健康状態が正確に把握できないので入学通知の発送を保留いたしております。学校又は教育委員会にご連絡を、というものでした。さっそく小学校に電話してみました。入学通知はまだ来ないが、保護者説明会と入学式の日時を教えてください、と。すると教頭が非常に困った様子で、就学時健診にお宅は来なかったの、保護者説明会の三十分前に保健室に来てくれるとありがたいことでした。次に教育委員会に、入学通知がまだ来ないが、と電話しました。今度は非常に丁寧な口調で、お宅のお子様は、障害があるとどうにかと聞いてきました。障害があるとどうなんですかと聞き返すのも少々面倒になってはい、ありませんと答えてしまいました。電話口さんは大変喜んで、それではお母様のお言葉を信じて事務的に処理させていただきますと言いました。それから数日後に入学通知が送られてきました。ある少数の人達は、子どもの障害があるかどうか聞かれても、障害のあるなしが問題なんじゃない、どの子も地域の小学校にはいれるべきだと思つて、今だに入学通知が送られて来ないそうです。ここであきらかなように就学時健診は、障害のあるなしをみるためのものではない、杉並教育委員会はそれだけが知りたいのだとい

うことです。太田区に、さんという会員がいます。彼女の長男の、君も今年、小学校にはいる年令です。陽性の自閉症で動きがすごいということ。三才の時、普通の子と交わらせたいと思ひ、幼稚園をさがすのに教育委員会に相談に行きました。その頃は教育委員会しかたよるところがなく、委員会の指導で訓練にもかよいました。就学をひかえ特殊学級の見学に行きたがっても、君を入れたい雰囲気ではありませんでした。その特殊の先生が、とてもいい先生で、就学前教育相談に行つてはいけな、行けば特殊や養護学級に入れるために相談に来たと思われ、教育委員会は地区の障害のある子の人員を集めなければならぬので、相談を拒否すると猛攻撃を加えてくる、等教えてくれました。さて、就学時健診には、君は行きました。君の場合、普通学校にはいってから気まづくなると困るので、後で教育委員会と争えばいいと思ひました。就学会場では、君もおとなしく健診を受けました。その後、学校から一度呼び出しがあり、「君の様子を聞かれました。そして入学通知は、普通児と同じように一月初めに届きました。」

川崎の場合
会社で電話がかかって来た。
「お宅に、今年四月から小学校に入学される方がいらっしやいますねえ。」
就健拒否をした次の日だった。連絡せずに行かなかったの、いつかはこの日が来、どんな形でくるのか、覚悟していた日だ。
苦勞して、連絡先を捜したらしいので、「連絡不足ですいません。就健に疑問を持っていたので行きませんでした。」すると、「はあ?」
「そんな事を言っても...」と、びっくり困った様子。こちらでも会社の電話であり、上ずってしまひ、「一度、子供さんと一緒に来て下さい。」との事に、「ハイ」と日時を約束をした。しかし、後で考えてみると、「子供を必ず」という事は、目診という事もあるし、しまったと思つた。
男親と話合つて、彼一人が行くという事になった。
当日、彼は、違う学校に行き、電話で入学するという事を確認しただけの、間の抜けた話になったが、思つた事は、東京の方と違ひこういう話があるまい、びっくり困つてただけで、対処法を考えていないようだ。通知も「教育委員会」からではなく「区役所」から入学通知と付随して来た。
今年は、そうだったが、来年、さらにはどうなるか、川崎の方もきつくなるだろうな。

からだの おしゃべり



43号で さんの一文を拝見しました。パイプカットの件を含まして述べることにします。この方法には、精子が通過する管を切ってしまうものと、管をおりまげておく二種類があります。後記の方法が100%元通りに精子の通過があるとは言い切れません。私はパイプカットと管の結ぶを不妊手術の類だと考えています。尚、現在三人以上の子がいる既婚者がこの手術を受けることを認められていて、誰にでも推薦できる訳ではありません。お上に男の性エネルギーがこうして管理されています。女も不妊手術を望んではいけません。だから避妊手段は重大な関心事である訳です。増野さんの一文は短かいものですが、言葉尻をとらえることになってしまいかも知れませんが「子供が欲くなれば、自分のタネじゃなくてもいい」という発言は避妊を論ずる上で分析上、効果的でないと思います。そのことは増野さんの生き方の主張としてパイプカットが良いと考へていらつしやる理由が、中絶のつらさや女に対するやさしさ追求した結論であつたのだらうと思われまふ。しかし、直ぐ他の人をパイプカットに向わせる説得力に弱いものがあります。男が避妊手段はほとんどありませんが、単一で考えるからでしょう。コンドーム・ベッサリ・殺精子ゼ

リーは男と女が共に選ぶ道具であり、基礎体温表はやはり両性にとっての目安であります。これを駆使する工夫があつて生活を共にしていく安心や勇気が得られるのだと思います。男が避妊に非協力であつたり、女が全く（男にお任せの）無知のままであることはありますが、かといつて両性が中絶を望んでいる訳ではありません。ただ中絶手術がどんな風に行なわれるのか、胎児や胎芽が具体的にどんな目にあふのかは知らずに済んでいきます。男と女の性が尊い命を創り出す限りない可能性を、人として大切にしたいのです。だから新しい命の誕生を迎えられないのなら、中絶手術方法がどんなに恐いことと比較し、だから避妊しなければ考えるのは実に効果的ですが、自分のからだにいつ生じることになるかといった緊張感（不安）をつのらせまふ。だから、からだの解放感を求めようとする場合には、むしろ中絶の具体的な行為は別の問題意識（テーマ）とするのが良いと思います。ごく近い将来、このテーマを述べて行くことにします。（つづく）（森）

私たち「びゅいの会」の場合

女のかからだシリーズ 私たち「びゅいの会」も大田区と同じように、体の学習会をはじめました。きっかけは私たちの会の会員のご主人が市民病院の産婦人科医で、講師として協力していただけたという。ことではじまりました。第一回は、十月六日、テーマは最初なので基礎という事で「生理と避妊」参加者は十九名でした。新聞に案内

中）のテープおこししたものをパンフレットにしました。定価二百円（送料一部百四十円、五部三百円）です。ぜひ学習の資料に使って下さい。申し込み先、〒

山口県 お願いがあるのです。女なら何回でも、お世話になるだらうと思われ、産婦人科の事なので、一度あふふんで、お医者様、又は看護婦さん等のいわゆる関係者を招いて、受け入れ側の考えを聞いていただけないでしょうか。

二度の出産を経て来ましたが、公立の二軒の産科にしかかかったことのない私です。大きな事はいえな訳ですが、女が産婦人科医に望んでいること、というのは多々あるのではないのでしょうか。

今日もそんなことを考えているところに、友人から電話がかかって来ました。「（私が出産した）病院に行つて来て、びっくりしちゃった。妊娠したら、生みますか」って、皆の前で聞かれたけど、……つまり、オーブンとは云えない粗雑な接し方をするとどうなるのです。診察・治療の内容について知るなんてどこではないのです。

避妊についても、あふふんてのみをたよりにしているのはいけないと思うし、（病院で相談するなんて考えられない雰囲気です）女達がどう動いたら良いかという事も、つかめるのではないかと思うので是非受け入れ側の姿勢をさぐってみて欲しいのです。

静岡グループ

清水市



昨年いたしました託児室設置要求運動のその後についてご報告いたします。十一月二十日に、「託児室と専従の保育の設置要求書」を静岡の中央公民館館長に渡したところ、館長の返事は、まだ公民館のない地区もあるし、古い公民館は、修理も必要で予算が足りないくらいである。公民館を利用する人達には、高齢者・働く青少年などいて、人数の少ない母親達のための託児室は順序として、どうしても後まわしになってしまふ。

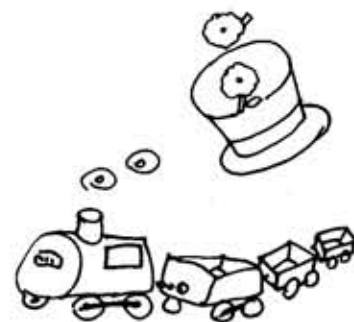
公民館主催の講座に託児室を併設してほしいとの要求には、やる以上責任があるもので、きちんとした設備でやりたい、もう少し待って欲しいというような内容でした。わたし達もこの要求には、自分達グループのためばかりでなく、公民館で勉強したくてもできないでいる多勢の若い母親や、将来の母親のためにしているのだという事で、子育て中にこそ勉強すべきであつて子育てが終わってからでは遅いということ、誰でも利用できる公民館なのに、一部の人がだけ利用しているのではないか。特に主婦の場合には、子育てが終わった人達がほとんどではないか。などと訴えたのですがほとんどではなかった。公民館の職員とも、よく話し合つてみる、という具体的な方向のない回答でした。この回答のあと、わたし達は話し合つた結果、今後はあふふんての活動を公民館の職員にもっと知つても

らい、同じ立場に立つて設置の努力をしてもえらるようしよう。そして公民館を利用している他のグループと横のつながりをもつたり、わたし達で企画した事を公民館と共催でやらせてもらい、家にとじこもつていた母親たちにも知ってもらつて、多勢の住民の声として公民館に働きかけて行く必要があるのではないかと、いう事に意見がまとまった。

静岡グループができて五年日に入りました。が、今までの活動の中から生まれたこの切実な要求を、はじめて行動に移して、わからない事だらけの中から、いろいろな人達からアドバイスをいただき、公民館を利用して二つのお母さんグループの連名と共に、どうにか要求書を館長に渡すことができました。

よい回答はもらえなかったけれども、公民館を貸会場ではなく社会教育の場として認識したこと、わたし達住民のためのよりよい公民館にすることを、わたし達自身が公民館に働きかけ、職員と一体となつた活動が必要なことなど、学んだ事もたくさんありました。それと同時に公民館を利用して他のお母さんグループに呼びかけた際、すぐ共鳴してもらえらると思つたこのお母さん達から、「子供は、小さいうちは母親がみるのが一番よいので預けてまで勉強することはない」という強い意見がでて賛成してもらえなかったことにびっくりし、この運動を進めて行くことのたいへんさも痛感させられました。この運動（運動という少し大げさですが）も始まつたばかりで長い時間がかかると思ひますが、多勢の人の力で一步一步進めて行きたいと思ひます。

あんふあんで インタビュー



お金にならない。はたらき”

Iさんは、家で英語の塾を開いている。その収入は五万円。「英語の塾をやっているのはお金になるから。でも子供達を相手に英語を教えるのは、本当のところ、楽しくない」という。理由は、英語を必要としない日本人の生活の中で子供に教えることの効果を本当に感じたことがないからということ。彼女自身、今「やっている」と感じるのは借家借地人組合という手弁当の活動。英語の塾の事はさておいて、その活動と彼女の接点をきいてみた。

矢借家借地人組合というの私も名前は知っているけれど、首をつっこんだキッカは？
I借りている家の一回目の更新の時にもめて値上げを何割かするから認めると大家が強引に言ってきた。この家は英語の塾はやって

ている、共同保育とかで子供はドカドカ出入りする。この位の値上げは当然で認めなければウソと。いろいろあったわけ。こちらは納得できなくて、あちこち相談に行ったりけど、本当にうなづける答はみつからなく、最終的にこれだと思えたのが住んでいるY市の借家借地人組合。

矢でもその間、大家や不動産屋ともめていたわけでしょう。私なんかそれ考えただけでしんどくなるけど。
I最初はこわかった。値上げは当然という雰囲気の中で。でも認められないし、意地になってがんばった。そのうち法律の本を読んだりして、法律が守ってくれるとわかった頃から恐くなくなってきたけど。

矢たとえどんな風にも？
I法律上のことをいえば、今の貸借契約書がいかに何の役にたたないかわかると思うけど、それ以上にはつきりしてくるのは、住む権利について。

矢住む権利というところ……
I紙、一枚でかわされて、そこに住めたり住めなかったりするわけでしょう。一例でいえば契約更新期間は、ほとんどが二年間なのね。二年間の契約で住むことが認められると、反対に考えてみると住むことが認められていないとも思うの。ある人は家を借りてその土地に野菜をつくりたいと思う。一年で種まいて一年たつて芽が出て、二年終わりで、でてて下さい。ハイノそうです。すかていかないでしよう？

矢そう、二年なんてあつという間だね。やっとなりに来てこれという時に、またここ

にいるかどうか考えなければならぬ。
I子供が学校に行ったりしたら、そんなに簡単に越せないし、いつも二年単位でしか考えられないのはたまにいいわね。

矢地域に生きたいとか、その土地の人になるとか私達は思うけど、考えてみれば、その土地に住むかどうかを決めるのは私達ではなくて紙一枚に納められているか、できないか、その条件が決められているんでしょね。
I二年たつて次の土地へ行って、それが当り前とされている今のあり方が、すべてをおかしくさせているのでしょ。契約したら少くとも五年・十年は住んでくれる、そんな保障がなければ本当に住むことにはならないし。

矢借家借地人組合に入って、一人ではないと思うことはとても強いでしょう？
I入っているといってもY市でも本当の徴数でも中心に動いている人達は持家の人のね。家とか土地の問題はあるからいい、なければやるというところではないと思うの。七十才、八十才の人がおいてくったり、地代が上ったからといわれてオロオロしてやってくる。若い時は次探しますからって動けても、年とった人はそうはいかない。

矢なんでもその年まで家を持てなかつたとき、現在の状況でいくとそう言われておしまいみたいな感じもあるものね。
Iそうなのよ。今まで借家にいた人が新しく自分の家を持つ。すると、とたんに地価の値上りを喜ぶ立場に変わってしまう。タコが自分の足をかんでいることがわからない。自分さえ解決すればそれでいいという人が

多いし、何で地価がこんなに値上りして、持つ者と持たない者がいるのか？そこまで考えようとしなくていい。借家借地人組合は私には自分を守るためにあるけど、それが人を守ることにつながっている。

矢二回目の更新もいろいろあったわけ？
Iこんどは大家は下手にでて、一割値上げをいってきた。普通だったらここで判つくんでしょ。けど、私は千円にしろと言ったわけ。そしたら向う側は「じゃ裁判にする」と出てきた。私が「裁判ですかやりましよう」と言ったらもんだからあわててね。裁判するといったら借りて側はおれるだろうと思ってる。大家はいいんだ。でも法律と知識があるから恐くはないし望むところ。

矢正しい知識はすごく強い？
Iそう、みんな中途半端な知識しかもってないから、こう言われたら困るとか、こう言われたら弱いか自分が正しいと思っても何も出来ないでしよう。だけど権利や知識を身につけていくことで強い力になる。

矢その為にはIさんも手弁当でがんばるんでしょ。
I千円の値上げの為に、電車賃使って風の日も雨の日も子供の手を引いてあちこちらいくわけ。そんな事して馬鹿だ、それだ。たら値上げを認めた方が得だろうと不動産屋は笑っている。だけどやっていると、おれちゃいけないんだと思う。弱者同士が集まって自分が脅やかされ続けていることから、そんなに簡単には逃られないよ。

矢Iさんはあんふあんでのグループ活動も経験して、その活動と今の活動はどう？

Iあんふあんでのグループの時は正直のところ私には本音を出せる場ではなかったのね。なんというのか、本当に生活に密着してないというのか切実さが違ったと思うの。この会では男の人や年配者が多くて、だけど私には与えてくれるものがある。

矢でも、あんふあんでやめたノとはならないのね。
Iあんふあんででもこの会も根本は同じでしょう。何かを創造していく。この活動とあんふあんでが自分の中でどうつながるか今のところはおぼろげなけれど、あんふあんでの中に何か自分なりのものを出していききたいと思うの。

矢英語の塾をやっている、それはお金のためとわきまきいているみたいだけれど。
I若い時、収入が多ければ多いほどいいんだなんて思っていた。だけど男も女も働かざるに働いて毎日、活して、本当にやりたいことやっているのかと思うとわからない。夫は版画家で、それが金の為に会社に行っている。本当は版画で生活していければと思っている。でも毎月毎月の生活費のことを考えると「じゃ、そうしたら」と簡単には

矢いろいろな活動をしていて、金にならないところでも一生懸命がんばる。どうしてかな？
Iいろいろなところへ顔を出すのね。よくいわれるのね。でも無償のものの方が与えてくれる物が私には大きいから。人間っていろんな人がいて、いろんな人に会って身がひきまわります。同じような考えをもった人に

出会って自分だけではなかったと思う。

住居に対しても独身や共働きでバリバリやる時は、どこへ住もうがどこへ越そうが関係ないけど、子供が生まれて生活が定まると価値観が変わってきた。そこで、始めて町づくりが出来ると思うのね。
矢町づくりが出来るというのかここに住もうと思った時、始めて何かガンバッテいく事がみつかるしね。

私も借家人です。だから借家借地法をがんばって聞いてみました。本当は英語の塾の話も書いてみたかったのです。でもIさんが言ってます。「借家、借地人がみんなこの組合に入らなければ絶対何かはかわるのにな」私なんか今までは絶対、長いものにまかれてきました。痛感してます。そして、すでにそんな心配のない人も、もう一度土地と家とかについて考えてみませんか。(矢郷)



情報コーナー (追)

ゆっくりと時間をかけて、経済的、精神的に自立を計りたい方、集まりませんか。当方は将来、書道教室を開くことを考えています。子供は八ヶ月の女子一人です。(離婚経験者・三十六歳)

子どもが みえてますか？



公立保育園から

杉並区

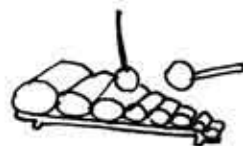
私の子供は四才と一才。公立保育園に通っています。区立・国立・官公庁、すべて上のやる所、信ずるに足らず、預けっ放し、国におまかせ、仕事一途の職業婦人にはなるまいぞと入園と同時に父母の会活動を始め、三年経ちました。毎日散歩につれて上ベキは知らないとか、園舎を父母の会に貸してなどニコニコと話し合いつつ大人達で努力してきただけ。それがまあ鈴木都知事になってからというものの福祉予算が減らされる、保育の給料きびしいぞ、保育料は最高五万だと私達の手の届かないとこでいじめてくれるのです。だあれ、鈴木を選んだのは、などブツブツ言いつつストだ署名だと一応は騒いだのです。全然、期待もしないで。ところがそれが効いたのかどうかかわらないけれど急に保育料は値上げされないことになって（来年度は絶対上がると思う）親はひとまず安心。けれどその為父母達のエネルギーも自分達の仕事、生活に向けられ分散してしまっただけです。だれど、これが安心して居る場合なんかじゃないんだなあ。新聞なんかで鈴木都知事の老人福祉云々はよく取り上げられているけど保育園の事はあまり説明されていないので（男ども

には関心がないのだ）少し説明させて下さい。鈴木知事は最初福祉切り捨てのようなことを言っていたけど次第に福祉維持に変わりました。でも保育園の中味は今までと同じではありませぬ。なぜかという職員、つまり保育が減らされるのです。現在、一人の保育が0・一才児を三人みているのです。この国基準というのは、大昔、貧乏でしかたなく母親が働かなければならなかったかわいそうな子供達を預かるうという頃の基準なのです。これがどんなに大変なことか、共同保育なんかで四・五人の子供をみたことがあればわかるのです。一人で歩けない赤ん坊を六人もかかえてどうやって散歩に行くの？結局、子供は一日中部屋の中に閉じこめられて、かわりばんこにおムツ替えられ全員並んで口あけてエサを待つことになるのではないかしら。どんなにエライ保育が頑張っても手が二本しかない限りは。それから特例保育というのも補助が減らされます。具体的には午前九時以前、午後五時以後に（園によって少し時間差がある）預けられる子の数を減らすので母親が八時間勤務の仕事に就くのがますます難しくなります。これじゃあ本当に保育園に行く子はかわいそうになっちゃうじゃありませんか。保育もへとへとになって自分の子ができたら仕事やめて育児に専念します。なんてことになるかも知れないし職員減らすのはいいけれど、そういうのは役所みたいなひまそうな所です。だってほしいのです。保育園は子供の場所なんだから別もんよ。とにかく目の前の問題としては減らされる保育を補う分のお金を区が出し

てくれればいいのですが消極的な姿勢はみえみえです。もしお金を出したとしてもそれはやはり一時的になだめられるだけです。なにせ、国の政策は家庭保育の重要性などといって、保育園は真の福祉の対象とならないようですから（家庭の日なんてつくろそうな）鈴木知事も自分の好き勝手な働きにやるような母親は困りもの、と顔をしかめています。私達は子育ての場の一つとして共同保育を保育園を、また幼稚園を選んでいきます。どれを選んだとしても関わった場をよりよくしようとしなければ、本当の子育てにならないと思います。保育料が上がるからと喜んでいないで子供達の場がどう変わっていくかよく見ていきたいと思います。

春風を体いっばいに
体を動かそう
寒い北風に背をまらめ、体を固くして歩いてたけれど、もうすぐ春、体の中は春に向かって準備中、皆でこのびのび、春風を体いっばい食べましよう。
身軽な服装で来て下さい。弁当持参ノ子供たちも、一緒にやったり、芝生なので、ころがりまわります。
日時 3月20日（木）11時～（雨天中止）
場所 結公園・園内子供用自転車練習場
場入口集合（かなり歩くので早めに）
交通 目黒・成城学園・田園調布からバス他 詳しくは事務局へ。
連絡 子供の人数が知りたいので17日（月）までに事務局へ電話を。

あんふあんて から あんふあんてへ



あんふあんてからみた「家庭の日」

杉並区

あんふあんてに集まってくるのは、母親と子どもで、七十五年当初、川崎グループではバザーなどをやったが、そこに現れた父親は、「子どもの教育とか、しつけなんか俺の知ったことか」という人が多かった。

少くとも子どもの小さいころは、母親がその子を育てるすべての役割をこなしているのだというのだから。私たちは、すべて専業主婦だった。

家の中に母親と父親がいて、育てる子どもに対して父親の直接の存在感すらないような接し方が日常行われている。ここで子どもは何を学んでいくだろうか考えたとき、子どもというカプセルでしか扱われない自立の立場に吐きけすら覚えたものだ。「父親も主体的に育児に参加すべきだ」私は、そう結論づけた。愚痴となっていて、そして母子の密室育児をどのようにしていったらいいか、その模索が共同保育であり、あんふあんてに関わる自分の姿勢だった。

「家庭の日」というのは、家庭をどう見直しするものか、調べてみた。私たち家庭をもっている者は、家族と住ん

でいることを幸せと思う。だけど世の中にはひとり住まいの人は多いし、母と子、父と子、子と子、老親と孫というように家族といっても多様じゃないか。

「家庭の日」のたたき台になる「自民党家庭政策委員会」によれば、父と母と子のいる「家庭」こそが「健全な家庭」であり、それ以外の形態の家庭は「恵まれぬ家庭」ということになっている。

それに、「乳幼児の子どもと母親とのスキップ」の有無は、後の子どもの成長発達に大きな影響を及ぼす」としているから、「育児期間中最低一年」はどうしても「母親が育児に専念しなければならぬ」と規定し、「子どもの保育としつけは家庭の責任であること」を自覚し、子どもが悪くなったのは、すべて母親の責任となるのだ。

これは今だってそうだけれども、例えば、子どもに何かの不都合があらわれると「お母さん、子どもとスキップを充分にしましたか？」とたずねられる。ある人は保健所である人は保育園で、ある人は学校で、ある人は教育相談所で、というように、「家庭の日」なんぞが制定されたら、もっとひどくなるだろう。

それに一枚加わって、三世代同居を推めるために、持家促進のための二世帯長期ローン・税制優遇などのおいしそうなエサをブラブラさせている。

親にしたって、老後は二人でゆったり過ごしたいという人もあるだろうに、これこそいい迷惑だ。年をとって体の具合が悪くなったら、福祉は全くあてにならない状況の中で、

子どもと一緒に住むのが一番いいよと云われるのだろう。もちろん、いっしょに住みたい人はいっしょに住めばいいし、ひとり住みたい人はひとり住んで住んだ方がいいのだ。

「家庭の日」なんぞが制定されたら、今、いきいきとするために子どもを預け合っている、あんふあんてはどうなるだろう。おそろしや「家庭の日」ノ

★二・三歳児の会から

二・三歳児をもつお母さん、月に一回映画でも見たくありませんか。子どもは事務局で交代にみあって自由な時間をもつ計画をしています。事務局に集って相談しませんか。

3月17日（月）10時半～ 青木・加藤

★ピッカピカの一年生お母さんへ
いろんな情報にふりまわされて、ちょっと不安になったりして……ホントのところを聞きたいという感じじゃない？現場の教師を交えての話し合いにきてみませんか。

3月31日（月）11時～ 古知

★零・一歳児ひなたぼっこ
赤ちゃんでも、友だちといっしょにいることは大切なコミュニケーションのはじまり。あなたも久しぶりにひとりだけの時間をもってみませんか。

3月18日（火）と4月1日（火）10時～3時 千円

★四・五歳児のお泊り会
仲間とワイワイ合宿気分。映画の上映は大好評です。おとなもその間の時間を有効に使ってほしいわ。二千円（兄弟は三千円）大山
3月29日（土）3時～30日（日）10時

たべもの の はなし



葉もの野菜がものすごく高いです。ネー。白菜一ヶ四百五十円とかキャベツ三百五十円とかレタス三百円とか。八百屋の前で考え抜いたすえに、うターンする人も多いのではないのでしょうか。

私が無農薬野菜を手に入れている共同購入のグループでは、もう一ヶ月以上も葉もの野菜がありません。一週間に一回の分配が、二週間に一回と減った上に、人参と大根、たまに里芋、山芋などだけです。大根の葉も食べられない位の状態で捨てられているしかありません。そこで目を付けたのは「もやし」。昔に比べれば二倍ぐらいの値段にはなっていますが、野菜の中では年間を通して一番価格も供給も安定しています。いためたり、ゆでておひたしにしたり、酢のものにしたり、みそ汁の具にしたりと用途も広く、ビタミンCなども豊富です。ただし、工場生産されているものなので、どういう生育の仕方がされているのか気にはなります。どなたか知っている方がありましたら教えてください。とにかくヒゲ根なども取らないで「シャカシャカ油いため」などに毎日のように食べるようになったら便の調子がとても良くなりました。繊維のおかげでしょう。

秋に蒔いたバセリの苗たちが二度の雪にもめげず育ちつつあります。早く大きくなれと、熱い視線を送る今日この頃です。(置田)

ミニコミ紹介

健康料理手帳

安全な食品を求めて共同購入や学習会をしている大阪のグループ「牧方・食品公害と健康を考える会」が発行。しゅんの時には同じ種類の野菜がどきどきと会員の元に届く。「どう保存をしないかわからない」「料理法をあまり知らないの、もてあます」という声が若い主婦の間から出て料理教室を開くようになった。それを百十四ページの「手帳」にまとめたもの。

申し込みは四百七十円(送料共、切手代用可)を添えて。

さんまで。

図書コーナー

花もつ女

小池 一子訳 パルコ出版

女が創造していく、何故「女」にこだわるのか。何故女が物を創るのか、そして本心に私達は私達の目で手で物を創ってきたか。この本を読むと残念ながら日本には本当の女性アーティストがあらゆる分野でいないこと、あらためて気がつくのです。気がついたところで、どこから出発していくべきか、彼女の男達や女達の関わりを通して、私達も出発していけるとても心やさしく勇気を与えてくれる本です。ぜひ読むべし。(矢郷)

情報コーナー



一緒にやりませんか

★週一回、共同保育しませんか?
当方一歳三カ月の女児あり

★活動グループが近くにないので、共に子供を預り合い、語り合う仲間を求めています。

提案

マニティを会員同士利用できるよう使用済みのものを一カ所に集めて融通し合ったらどうでしょうか。私個人では友達・妹に貸していました。

参加しませんか

★「地域・家族」発行3周年記念シンポジウム、「対とコンミューン」家族・共同体・地域を検討する。

(問題提起者) 新良淳良さん
(時) 1980年3月20日(春分の日)
13時開場

(場所) 東京都立川労働福祉会館和室
立川駅北口下車徒歩15分

(問い合わせ) 「地域・家族」編集委員会
まで。

映画コーナー



「マリブアブラワンの結婚」——戦後のドイツの歴史をひとりの女の上に重ねた、痛烈な批判力をもつ社会派映画。敗戦のドイツが経済復興していくか如く、たくましくお金を得ていくマリブ。一日半の結婚生活で徴兵された夫と、パトロンとなった占領軍の黒人将校と雇い主でもある金持ち老ドイツ人の愛人と、という三人の男とマリブの関係。しっかりと計算された映像・セリフ・出演者の役割・全体の構成などからのドイツへの批判。この三つのどれに興味をもったかは、あなたの今もっている関心事を正直に表わすことになるだろう。

「第二の目覚め」——これもドイツ映画なのだが、女性の監督が創った真に女性のための映画といえると思う。残念なのは西ドイツ映画祭として東京で一日だけの上映だったことだ。(なんとか上映したいなあ)。実話でもあるのだが、共同保育所をやっている立退きを迫られ、金に困って母のひとり暮らしと組んで銀行強盗をやる。そして逃亡する過程で登場する三人の女が第二の目覚めともいえるべき変化をするわけ。一人目は強盗をやった保母だが、行動的で思想的にもしつつかとし、自立しているつもりでいたが、逃亡中にいる人なに関わり、助けられ支えられ、孤独になり、ひとりでもやりきってきたと思っていたのがちがうことに気づく。二人目は逃亡を助ける親友だが、経済的にも精神的にも他

に依存してきた形の主婦の彼女は、せっぱつまった友だちのために行動を起こすうちに自信もつき、夫抜きでも生きられることに気づく。三人目は強盗に入られた銀行のOLだが、強盗なんてバカげたことをやった犯人をつきとめようと保育所を毎日のように訪れ、子どもたちの生活を見ているうちに、ひとり暮らしをしている自分の欠落している部分に気づく。最後には、保育所が孤独な逃亡に疲れて町にもどり、保育所にいる自分の子どもに会いに行つてつかまり、OLが証人として面接させられるが、彼女は「犯人ではない」と証言をする。ここが感動的なんだなあ。女の自立を考えるには最適な材料だと思う。

「ノーマレイ」——これも実話からのものだが、工場の作業というものを知らない私は、最初の機織工場のシーンからのまよってしまった。その工場によって成立している小さな町でその工場のノーマレイは窒息しそうに生きている。男や子どもも生きがいにはならない。そんな中で、労働組合づくりに中央から派遣されてきた男と知り合う。彼女も組合づくりに参加し始め、真に燃えられるものをみつけた。ある日彼女はひとりで会社に挑戦する。力で排除されかけた時、「ユニオン(労働組合)」と書いた紙を機械の上で掲げる。すると、機械が一台とまった。二台、三台とまわっていく。組合とかいうコトバにアレルギーをおこしそうな人も、このシーンでは涙が出るにちがいない。組合づくりにていうか、たいい話も、タッチは生身身のイキイキさがあふれ、退屈しない。こうでなくっちゃ、どこかの国の労働組合の人たちよ。(古知)

★「吉祥寺村立雑学大学」

だれでも受講できるし、講師にもなれるという変わった大学です。授業所なし、好きなときに出席できます。

(時) 毎週日曜日 2時14時

(場所) 丸井吉祥寺 旧館4F Lの会教室
受講者は50代の夫婦・40代の主婦団体・若者と多様多様、テーマも2月3日は官公庁とつき合うための手続・書類作りなど2月24日地味舞などもあります。

(問い合わせ先)

平日は、週刊しらじょうじ
TEL 0422(48) 7741

日曜は、ボランティアセンター
TEL 0422(22) 3381

国分寺市

★「80年・女の集会(仮称)」実行委員会参加の呼びかけ

国際婦人年及び国連婦人の十年の真の主体である私たちは1980年を私達自身の節目とし女の問題状況と運動をともに点検・総括し「婦人の十年」の後半期及びそれに続く未来を展望していきたく集会の実行委員会への参加を呼びかけます。

第一回実行委員会 3月24日(月) 6時半(連絡先) 都内新宿区若葉1の10 グリーンマンションD号 合同事務所ジョッキ内

TEL 03(357) 9565
国際婦人年をきっかけとして行動を起こす私たちの会

事務局から



●グループ連絡先の変更です。グループリストを各自訂正しておいて下さい。
南大阪グループ

静岡グループ

●いつも情報誌の発送用のあて名書きをしていただいている人の中のひとり、伊勢原市のさんからののおたよりから。「……でも一番の喜びは話し合える人ができた事。本でもあんふぁんての情報誌でも、読んでみない？とすめられるんです。（これまで何となくできなくて）あんふぁんて？知ってるわ、新聞の切り抜きももってるの。なんて人がこんな近くにいたなんて。本当に、自分から動かなくてとは感じました。」
●今回の表紙イラストをかくてくれた江戸川区のさんのおたよりから。「80年代です。私も子連れでなんとかマイペースを守ろうと思います。……ママがイキイキしていた方がいいでしょ。迷いながらマイペースを守ろうと思います。」ちなみに、前回の表紙・イラストは川崎市のさんのもです。
●参加費の払込みをよろしく。

スケジュールメモ

3月15日(土)	コンサートチーム会議
3月17日(月)	2・3歳児の会
3月18日(火)	0・1歳児ひなたぼっこ会
3月20日(木)	ヨガの会
3月23日(日)	4月号投稿メ切り
3月29日(土)	4月号編集会議
3月31日(月)	4・5歳児お泊り会
4月1日(火)	ピカピカ一年生の会
4月5日(土)	0・1歳児ひなたぼっこ会
4月18日(金)	4月号発送 5月号企画会議
4月20日(日)	5月号投稿メ切り
5月2日(金)	5月号編集会議
5月2日(金)	5月号発送



スタッフから

●映画のコーナーは書いてても空しい感じがしないでもありません。地域によっては上映されないところもあるし、配給ルートによって上映館も限定され、しかも個人の状況・スケジュールにピッタリOKというわけにいかないからです。でも、書くのは、焦ってほしいからなんです。感性をとりもどすのを焦ってほしい。そしてそれから……（古知）

☆事務局までの地図です。

おきい2
5分ほど

★入会申し込みは切手三百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。
宛先は
★参加費は一カ月三百円。六カ月以上まとめて郵便局で。払込先は表紙に。
★事務局の電話受付は原則として月1金の1〜3時です。御協力を。新事務局の電話番号は